

夢育通信

冬号 令和3年12月吉日発行

発行者 宇都宮市立清原北小学校長
青柳文男

全校行事が無事終了

船頭まつりの代替行事であるミニ学習発表会と、本校の伝統芸能である夢育劇場が無事終了しました。ミニ学習発表会では、普段の学習の成果を保護者の皆様にご参観いただきました。3,4年生は朗読発表会で、4分以上の「外郎売」（ういろうり＝アナウンサーの滑舌練習教材）の暗唱、宇都宮の民話や新美南吉の童話の朗読に、保護者の皆様から「我が子と思えないほど感動した」などのお声をいただきました。

夢育劇場は、2年ぶりに保護者の皆様に見ていただくことができました。担任は夏のうちから台本に今年のアレンジを加え、子どもたちも1か月も前から練習に取り組んできました。ミュージカルは稲見けい子先生・朋子先生に、劇は山縣恒雄先生・戸田古道先生にそれぞれに2回ずつご指導をいただき、演技に磨きをかけてきました。本番前日には子どもたち同士で相互鑑賞会を開き、仕上げの練習をしました。そして、迎えた本番。ミュージカルでは、1年生のかわいらしい「雨、しずく」、3年生の川を汚す「ゴミラー」の激しいダンス、そして、大きな声でのびのびと演じた5年生。また、劇では、鬼怒川の水の“動”と“静”をいきいきと表現した2年生、表現力たっぷりに村人などを演じた4年生、そして、練習のたびに工夫を加えてよりよい劇を目指した6年生！ 全校生が一つとなって創り上げた“夢育劇場”でした！



明石志賀之助(あかしがのすけ)と蒲生君平(がもうくんぺい) 一宇都宮の良さを再発見一

一人横綱の照ノ富士が絶好調です。照ノ富士は73人目の横綱ですが、初代横綱は明石志賀之助といって宇都宮出身なのです！江戸時代の伝説の横綱ですが、八幡山公園の南側の蒲生神社に、明石の碑と石像があります。

蒲生神社は、宇都宮の小幡に生まれた江戸時代後期の学者、蒲生君平を祭った神社です。蒲生君平は、全国の天皇のお墓を調べ、円と方形のくっ付いた鍵穴のような形の古墳を「前方後円墳」と名付けました。

明石碑は最初、御本丸公園（現城址公園）に建てられましたが、戦後、蒲生君平が文武両道の人だったことと、蒲生神社の鳥居が大正時代の名横綱で本県藤岡町出身の栃木山守也が寄進したものであることから、蒲生神社に移されました。

ちなみに、2代横綱の綾川五郎次（あやかわごろうじ）も栃木県栃木市出身です。こちらも伝説の人ですが、栃木市の定願寺（じょうがんじ）というお寺に、綾川の墓とされるお墓があります。【蒲生神社鳥居】



【明石志賀之助の碑】

【蒲生君平】

冬でも元気な清北小！



【きらきら仲間ができました 1年生】

図工の時間にきらきらの世界の仲間達を作りました。色の混ざり方を工夫して作りました。窓に飾ると、セロファンの色が透けてどの作品も輝いていました。(川原田)



【波になりきった 2年生】

初めての船頭劇でしたが、波になりきって演技しました。荒波やさざ波など、状況に合わせて動きを工夫しました。今回できたことをさらに今後に生かしていきます。(大坪)



【思いを伝えた 3年生】

夢育劇場ではゴミラーになりきりました。使い終わった物がゴミになり、川に流されてしまっているが、本当は・・・その思いを伝えるよう演技をしました。「ミュージカルは楽しかった。また、やりたい！」と嬉しそうな笑顔が見られました。(加藤)



【パフェをつくろう！ 4年生】

外国語活動の授業「ほしいものは何かな？」の学習で、お店からフルーツなどを買って、先生が喜ぶパフェを作りました。グループで協力して楽しく英語表現に慣れ親しんでいました。(石田)



【エプロン完成！ 5年生】

家庭科の時間にエプロンを制作しました。ミシンやアイロンの使い方を覚え、上手に作ることができました。調理実習のときや、家でお手伝いをするときなどに使って欲しいと思います。(大塚)



【6年間の集大成！ 6年生】

台本のアイデアを練るところから小道具づくり、練習、準備や片付けまで、みんなで協力して劇を作り上げ、最高学年として悔いの残らない夢育劇場にすることができました。(阿久津)